

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 (仮称) 京都府観音郡井手町物流施設設計画新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q1 建築物の環境品質								24.9	
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q2 サービス性能					0.43			3.7	
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
2 耐用性・信頼性				3.1	0.50			3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:コンクリート→100年 内壁:ALCパネル→50年 天井:ボード類→30年		5.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水VLP(B)、給湯CUP(D)、排水VP(B)、Eは不使用。		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				2.6	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				2.0	0.20				

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0	-	-	2.0	-	1.0	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0	-	1.0	-	2.0	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 昼外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標		窓の日射熱取得率(η)	
Q1 室内環境		窓システムSC	窓の日射熱取得率(η)
2.1.3 外皮性能		U値(W/m2K)	窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -
		住戸部分	窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -
3.1.1 昼光率		昼光率	0.0%
4.2.2 自然換気性能		自然換気有効開口面積率	0.0%
Q2 サービス性能			
1.1.1 広さ・収納性		机スペース	0.0㎡/人
1.1.2 高度情報通信設備対応		コンセント容量	0.0 VA/㎡
1.2.1 広さ感・景観		天井高	0 m
1.2.2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース	0.0%
2.2.1 躯体材料の耐用年数		想定耐用年数	0 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		想定必要間隔	0 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		想定必要間隔	30 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		想定必要間隔	15 年
3.1.1 階高のゆとり		階高	5.9 m
3.1.2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率	6.0%
3.2 荷重のゆとり		床荷重	15000 N/m2
Q3 室外環境(敷地内)			
1 生物資源の保全と創出		外構緑化指数	21%
3.2 敷地内温熱環境の向上		建物緑化指数	0%
LR1 エネルギー			
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI/BPI _m	対象外 断熱等性能等級 対象外 相当
2 自然エネルギー利用		自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡
			採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%
			通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化		BPI/BPI _m	非住宅 対象外 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW
LR2 資源・マテリアル			
1.2.1 雨水利用システム導入の有無		雨水利用率	0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		特定調達品目	- エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材		使用比率	0.0%
3.2.1 消火剤		オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)		オゾン層破壊係数(ODP)	0 地球温暖化係数(GWP) 3
3.2.3 冷媒		オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
LR3 敷地外環境			
2.2 温熱環境悪化の改善		見付面積比	50% 隣棟間隔指標Rw 2.06
		地表面対策面積率	8.0%
		屋根面対策面積率	0.0%
		外壁面対策面積率	0.0%
		見付面積S _b	1.734㎡
		卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	139.45 m
		基準高さH _b	24.83 m
		緑地	735㎡
		水面	㎡
		保水性対策面	㎡
		高反射対策面	㎡
		再帰性反射対策面	㎡